

市民の目線で市民が発信する
地域情報紙

WEB SHIMIN

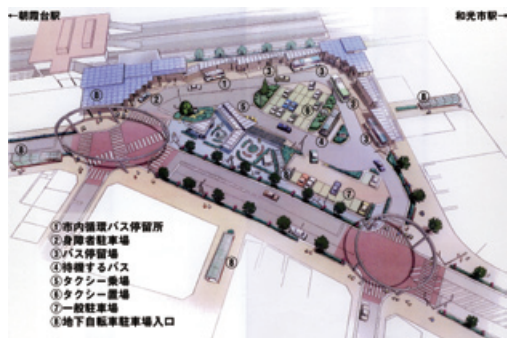
<http://shimin.camelianet.com/>

SHIMIN PRESS

市民プレス：第21号

発行人 特定非営利活動法人
「市民フォーラム」
編集人 原 昭 二
制作・印刷 デジタル工房
F A X 048 (476) 9111
〒353-0004
埼玉県志木市本町 5-18-24

朝霞市の玄関口となつて南口駅前、間断のない工事が行われ、整備が進んでいるが、土地区画整理によ



て生まれた部分の利用については、国の補助金によって、まず地下駐輪場の建設がはじまった。

この工事は順調に進み、収容台数4301台の駐輪場が完成する予定。

駐輪場の建設に引き続き地上部分の利用計画に移り、今年はじめ都市計画課からその基本構想が提示された。

朝霞駅南口駅前広場 公表された基本構想

地下駐輪場の建設に引き続き、
広場の整備がスタート

その構想は、市役所のほか、支所・出張所・公民館などで閲覧に供され、また1月下旬には2回にわたって説明会が開催された。

基本構想は、自動車、自転車、歩行者のそれぞれの通行に配慮しながら、地下駐輪場の入口、換気塔、駐車場を配置し、屋根の設計、植栽を含めて快適で便利な空間の創造を目指している。

照明については明るく暖かくという目標を掲げ、新しい感覚の景観の形成がその特徴になっている。

市民からの要望、感想を含めた意見書の提出が求められたが、寄せられた180項目を超える意



写真
駅前広場はいま
地下駐輪場の工事が真っ盛り

問い合わせ
朝霞市都市計画課
☎(463) 2518

シリーズ「平林寺の四季」



半僧坊大祭で春が来る

恒例の平林寺半僧坊大祭が4月17日に挙行された。

稚児行列、楽師の先導で、お練りは本殿を出発、「半僧坊」に向かう。

半僧坊大祭は、境内「半僧坊」に祭られた本尊、半僧坊大権現（後醍醐天皇の第十一皇子）に諸願成就を祈念するお祭り。

下写真

平林寺の境内に沿った道路を埋めた人出



半僧坊大祭当日は好天に恵まれ、九万人以上の入出。

境内の外までスピーカーで朗誦される読経が聞こえ、道路沿いの露店から放散される食べ物の甘い匂いは境内にまでたちこめた。

部会に分かれてビ ジョンの作成に励む 新座市観光都市づく り推進市民会議

ムページに詳細に掲載されて広報につとめ、熱もこもってきた。それぞれの部会の動きを追ってみよう。

●自然景観活用部会

ビジョンとして、幹となる「背骨」をつくると同時に、枝となる「骨格」を整備することを挙げ、野火止用水を幹、また妙音沢などの景観整備を枝として、目標を達成するための計画をたてている。

●交流部会

まず市民が新座を見つめ、みずからの魅力を認識することからはじめるといふ。市民への啓発を挙げ、メディアでの情報発信につとめることを重要なテーマとしている。

●産業活性化部会

新座の産業を複合させ、付加価値を高めるための計画をたてている。

住民に青天の霹 靂

朝霞市本町二丁目の「イイダ跡地」に計画されていた50戸余、17階の高層マンション建設計画が突然ベールを脱いだ。

ここは駅前通りの南側の細い道路に面していて、周辺には低層の個人住宅が多い。いままでは陽当たりの良い住環境に置かれていた。そこでこの計画の発表は、近隣の居住者を驚かせた。

住民は「本町生活環境を守る会」を結成し、建設反対の運動を開始した。2000人以上の署名簿を朝霞市長に提出、住環境に配慮するよう、建設業者を指導するよう求めている。



市民は、行政が環境・景観を考慮しつつ、線引きを見直し、業者の指導を行うことを待ち望んでいる。

写真上

解体工事が始まっている現場

最近問題となっている石綿の処理が心配

写真左

陽光が遮られる路地



許可の撤回ならず
本紙17・19号に既報
反対運動に立ちはだかって市道1号線沿いに建設された、朝霞市溝沼のセルフガソリンスタンドとコンビニエンスストア。



左写真
雑木林と接した国道沿いの廃棄物処理場



市内のウォッチング

右写真
市役所のそばの交差点風景、金鳳山平林寺の入口を示す標識も廃カスに包まれる



ジゴク谷

神山 健吉

志木市文化財審議会会長

志

木駅南口を右手に進み、志木大通り（通称防衛道路）を越え、現在、区画整理事業を実施している西原地区を暫く行くと、東上線踏切りから久保方面に通じる道路とぶつかる。更にこれを越え、志木二中・志木二小方面に向かう坂道の中腹を左に入った辺りが昔からジゴク谷と呼ばれていた場所だ。

さて、ここは今はなんの変哲もない空き地程度にしか思えないが、実は五百数十年前当時は、全国（山伏のこと）を当山派（真言宗系）とほぼ二分していた本山派（天台宗系）修験の有力拠点としての大塚村の十玉坊が存在した場所だった。つまりはその十玉の谷が訛ってジゴクダニになったという訳だ。

比較的最近まで、十玉坊は川越市西部の南大塚に比定する説が有力だったが、今から二十五年前に、筆者が幾つかの地方史研究誌に南大塚とするにはあまりにも根拠が薄弱であるのに、志木市の大塚にはその存在を裏付

のだ。

と

ところで、十玉坊は道興が滞在した文明十八、九年には確かに大塚に所在したが、その後、天文三年（一五三四）にはすでに水子（現富士見市）に移っていることが史料によつてはつきりしているし、それから一時断絶した後、天正七年（一五七九）に芝山（現清瀬市）に再興され、更に

中世末に柳瀬川縁辺を転々とした十玉坊



がある。

道興は十玉坊と並ぶ武蔵国の本山派修験のもう一つの拠点、笹井（現狭山市）の観音堂にも訪れた後、大塚の十玉坊に向かったことがある。その時のことを「江山幾度かうつり変りはべりけん」とか「山峻嶮に攀じて海波瀾、到る処その行路難し」と描写しているのは、いくらオーバーな表現だとしても、狭山市笹井から川越市南大塚までの比

道興は十玉坊に何回か逗留したが、その際は必ず大石信濃守の館に足を伸ばし、信濃守との間に和歌や漢詩の交換を行って親交を深めている。当時、道興は五十七歳。今でいえばまだ壮年の部類に入ろうが、当時としてはかなりの老境だ。その老人が雪の降った直後に道の悪いなかを信濃守の館まで赴けたということは、十玉坊がその館まで近距離にあったと思わざるを得ない。南大塚では遠すぎる

比較的最近まで、十玉坊は川越市西部の南大塚に比定する説が有力だったが、今から二十五年前に、筆者が幾つかの地方史研究誌に南大塚とするにはあまりにも根拠が薄弱であるのに、志木市の大塚にはその存在を裏付

に、館村の長勝院というのは「廻国雑記」（道興著）に見える大石信濃守の館の跡だそうだと十玉院から聞いて長勝院を六月十四日に訪ねて来るというクダリがあるのだが、これは十玉坊の後身の十玉院の発言だけに実に重みがあると同時に注目値するものと言えよう。

長勝院は柏の城が落城するまで、この城の西の郭だった場所とされるところである。つまり十玉院は長勝院を大石信濃守の居城となっていた柏の城の一部だったと認めたことになる。「廻国雑記」の中に記されている大石信濃守の館が柏の城だとすると、冬の雪の降った直後ほか数回にわたって道興が柏の城に向かった際の出発点の十玉坊は、柏の城とは指呼の距離にある志木市の大塚以外には考えられないところだ。

また、十玉坊が志木市幸町に所在したことを裏付ける幾つかの傍証もある。志木市大塚としてこそ説得力があるというものだ。

比較的最近まで、十玉坊は川越市西部の南大塚に比定する説が有力だったが、今から二十五年前に、筆者が幾つかの地方史研究誌に南大塚とするにはあまりにも根拠が薄弱であるのに、志木市の大塚にはその存在を裏付

は志木市域内に大塚村という名の独立した村のあったことが分かる。

(2) 十玉坊が芝山に再興された時の天正七年（一五七九）の文書に、十玉坊を入東郡と新倉郡の年行事職に任命するといふ文言も入っている（中世には入間郡を入東と入西の二つに分け、入間川以南の地域を入東郡と称していたようだ）。これは十玉坊が芝山にも新倉郡にも入東郡にも比較的近い場所にあったことを暗示している。

つまりは志木市の大塚が地理的に最適ということになってくるのだ。

(3) 昭和四十年代前半の志木第二小学校の新築工事の際に、御坊下という地名だった建設現場の土中から、昔、修験が修行する時に、その入り口に立てたという碑が何本も発見されている。御坊という地名も十玉坊に対する敬称と思われるし、ここで使われた碑伝が下流の地点である御坊下に



ジゴク谷のいま

東京駅開業

郷土史家 安斎 達雄

朝霞駅、志木駅より遅い開業

埼玉県に目を転じると、日本最初の民営鉄道である日本鉄道会社が、上野―熊谷間の仮営業を開始したのは明治十六（一八八三）年七月である。県内に浦和、上尾、鴻巣の駅が置かれたのはこのときである。この線は、やがて高崎まで伸びて高崎線となる。大宮駅は、高崎線から東北本線となる路線が分岐されるときに新たに置かれた駅で、開業は明治十八（一八八五）年三月のことである。

ながされたものと見ることでできよう。

以上、総合して考えると、十玉坊は川越市の南大塚ではなく、志木市の大塚という結論に達せざるを得ないのだ。



長勝院の版鐘

それでは、朝霞駅（開業当時の名は膝折駅）や志木駅を走る東上線が、池袋―田面沢（たもざわ）川越市内の入間川河畔。今はない）間に開通したのはいつのことだろうか。それは、かなり遅れて大正三（一九四）年の五月一日である。

当時の経済・社会的な状況、あるいは重要性を考えれば、東上線の開通に、この程度のおくれがあっても当然のことだ。不思議でもなんでもない。ところが、わが国の首都の玄関口ともいべき東京駅が開業したのは、

なんと朝霞駅や志木駅より半年以上も遅い大正三（一九一四）年十二月二十日のことだったのである。

呉服橋の仮駅

ここで、東京駅がつくられるまでのようすを、ふりかえってみよう。

明治二十年ころ、東北本線（当時の日本鉄道）は上野が起点であり、官営の東海道線は新橋が起点であったが、そのあいだの新橋―上野間を結ぶ鉄道はなかった。そこで、明治二十三（一八九〇）年、新橋―上野間を高架鉄道でつなぎ、その連絡駅として中央停車場（東京駅）を設置する方針がうちだされることとなった。

このあと、東京駅の駅舎の設計が開始されたのは、明治三十九（一九〇六）年のことである。設計を担当したのは、建築学会会長や帝国大学（東京大学）工科大学長をつとめ、ヨーロッパの建築に精通している辰野金吾（たつのきんご）であった。

当時は、日清・日露戦争の勝利で国家意識が高まっていた時期である。日本の中央停車場として恥じないものをつくりたい、との意欲のもとに工事が開始されるのは当然であろう。

駅舎は立派なものにしたが、鉄道はすぐにでも必要だ。そんな事情もあって、工事中の東京駅の三〇〇メートル北の呉服橋（ごふくばし）わきに「呉服橋仮駅」がつけられ、東京駅開業前の明治四十三年（一九一〇）年から、列車が通過していた。この仮駅は、東京駅が正式に開業されると同時に廃止され、今その跡は何も残されていない。

武家屋敷地から 陸軍施設地へ

東京駅が開設される前、このあたりはどのようなところだったのだろうか。

現在の東京駅を見てもわかるとおり、東京駅の正面玄関は丸の内側（西側）に向いている。というより東京駅の出入口は、当初は丸の内側にしかなかったのだ。「丸の内」とは「江戸城の敷地の内部」であることを示す語である。東京駅の裏玄関（東側）にあたる八重洲口地下街およびその上を通る「外堀通り」は、かつての江戸城の外堀を埋めてつくられたもので、そこまでは江戸城の敷地内であった。

「外堀」の外側（東側）の八重洲口側には日本橋もあり、東海道も通って

いて、江戸時代から商人の町場として賑わいをみせていた。それにたいして、江戸城内にあたる丸の内側は、諸大名の屋敷がならんでいた場所である。

当然、明治維新後は丸の内から大名がいなくな

り、つぎつぎに空家となつて屋敷は取り壊された。そのあとにやつて来たのは、練兵場や兵舎など陸軍の施設であり、警視庁などであった。しかし政府では、この地から公共施設を移転させ、新しい開発地とする計画をもっていたようである。

「三菱ヶ原」から ビジネス街へ

中央停車場建設の方針が出されたと同じ明治二十三年（一八九〇）年、政府は三菱の岩崎弥太郎に政府の土地である丸の内を買収するように求めた。岩崎弥太郎はこれにに応じて土地を購入した。岩崎は、ここに欧米式の近代的なオフィス街をつくる構想をもっていた。そのため木造建築などは許可しなかったため、開発はかなりゆつたりのペースであったようだ。

いつぼう、明治二十九年（一八九六）年、議会でこの地に中央停車場をつくるのが正式に決定された。やがて軍部の施設

などすべてが移転し、建物が取り払われ空地とされた。

そんなこともあって、丸の内は「三菱ヶ原」とよばれ、明治三十年ころまでは、一面に草ぼうぼうの原野だったという。

明治三十七（一九〇四）年から三菱では、ロンドンのロンバード街にならつて、赤レンガづくりのオフィス街の建設を開始した。こうしたロンドン風の景観は一丁（約一〇〇メートル）ほど続いていたので、「二丁ロンドン」とよばれた。

しかし、関東大震災前後から、丸ビルをはじめアメリカ式の白い外壁の鉄筋コンクリートのオフィスがならぶようになり、やがてアメリカ風が主流となった。

ルネサンス様式の東京駅

大正三（一九一四）年十二月二十日、東京駅は開業した。駅舎はルネサンス様式の三階建ての威風堂々たる建築である。白いレンガと赤いレンガを

組み合わせた様式は、設計者・辰野金吾の得意とするものであった。またこの駅舎は、オランダのアムステルダム駅をモデルにしたものともいわれているが、中央と両サ

イドにドームを配した構成、三〇〇メートルをこえる長い建物など、独特の創造性を発揮したものであった。



いまの駅舎正面

併設され（開業は翌年）、江戸川乱歩、内田百閒（ひゃつけん）、川端康成などの文学者がここを愛好したという。

ちなみに辰野金吾は日本銀行などのほか、駅舎としては万世橋（まんせいばし）駅も手がけた。万世橋駅は東京駅開業より二年早い明治四十五（一九二二）年四月一日、中央線の出発駅として開業した駅である。当時の写真や絵をみると、レンガの使い方など東京駅そっくりであり、東京駅をつくるための習作だったともいわれている。この駅舎は大正十二（一九二三）年の関東大震災で消失し、さらに昭和十八（一九四三）年には、時代の流れの中で駅としての役割を終えて廃駅となった。その跡地にたつのが現在の「交通博物館」（当初は鉄道博物館）である。

すでに、東京駅八重洲口では大規模な開発が進行中である。丸の内が駅舎の復元によって「歴史性」を象徴する地区となるのに対し、八重洲口はガラスを多用したツインタワーと大屋根によって「先進性」「先端性」を象徴する地区となるという。

この東京駅の駅舎は、関東大震災でもそれほど被害はうけなかった。しかし第二次世界大戦さなか、昭和二十年五月二十五日の空襲では、駅本舎の三階部分、および四つのホームの全部または大半が焼失した。

戦後の昭和二十一年

（一九四六）年十二月、東京駅本舎の修理工事が行われた。そのさい、三階部分は撤去され、両側のドーム部分も三角屋根とされた。終戦直後のゆとりのない時期ゆえ、やむを得ない処置であろうか。天井裏部分などは、荒れたままの状態だという。

一九八〇年代末期から、東京駅を現在地で形態保全することを求める市民運動が高まった。これに押されたかたちで、平成十一（一九九九）年には石原東京都知事も、駅舎を大正三年の開業当時の丸いドームの三階建てに復元すると発表した。そして、平成十五（二〇〇三）年、東京駅舎は重要文化財に指定された。

すでに、東京駅八重洲口では大規模な開発が進行中である。丸の内が駅舎の復元によって「歴史性」を象徴する地区となるのに対し、八重洲口はガラスを多用したツインタワーと大屋根によって「先進性」「先端性」を象徴する地区となるという。

人が人らしく生きるには欠かすことのできない二つの要素が、お互いを活かしながら、どのように地域を活性化していくことができるのか。楽しいプロジェクトではある。

東京メトロ「丸の内線」で 万世橋へ



今、「交通博物館」では
東京駅開業 90 周年特別展が開催中（5月29日まで）。

交通：丸の内線「淡路町」、JR 山の手線「秋葉原」が便利。
JR 中央線、神田～お茶の水間の高架線沿いに見える赤煉瓦の建物。

入館料：大人 310 円、子供 150 円、月曜日休館（祭日のとき開館、翌火曜日休）

☎ 03-3251-8481



中央線のガードに標示があり、その手前を左に曲ると博物館に入ります。
高層ビルの建設で激しく変貌しつつある秋葉原電気街が目前に迫っています。

その歴史に、終着駅はありません。

JR

特別展

**東京駅開業
90周年記念**

東京のターミナル形成史

2月8日(火)～5月29日(日)
会場：交通博物館 1階 特別資料展示室

新橋駅内山手線ホーム 1905年（昭和10）10月24日撮影。撮影：西村幸雄

完成した上野駅上野駅 1902年（明治35）7月撮影

大宮駅の上野山手線ホーム（旧ホーム） 1902年（明治35）7月15日撮影。撮影：山本正吉

新山手線 万世橋駅開業直後 大正10年

プラレール® 広場で遊ぼう！

3月25日(金)～4月3日(日)

【会場】新橋駅2階 特別展示場 【協力】株式会社トミー

1955年発売のプラレール。子供から大人まで楽しめるつづける鉄道玩具「プラレール」。広場で遊べばこのプラレール®を自由に組み立てて、楽しもう！遊びの楽しさを伝える。プラレール®の魅力を伝える。プラレール®の魅力を伝える。

春休み子ども映画会

PART 1 3月19日(土) 3月21日(日)

3月26日(土) 4月10日(日)

【会場】新橋駅2階 特別展示場

【割引】入館券発売中！

大人 260 円 小人 130 円（4歳以上・中学生以下）

※東京駅・JR山手線沿線の各駅「あどろの窓口」「ひょうろ」にて販売中。販売期間：3月21日～5月29日（土・日・祝日）

【詳細情報】<http://www.kouhaku.or.jp>

【お問い合わせ】03-3251-8481（代）まで

交通博物館

TRANSPORTATION MUSEUM

JR 秋葉原駅から徒歩 4 分

休館日：月曜日（国民の休日・振替休日を除く）※祝日休館
開館時間：9時30分～5時（入館は4時30分まで）



ウイルスに異変？

鳥インフルエンザウイルスに
人もかかる？

鳥から鳥へと伝染する鳥インフルエンザが突然発生したのは昨年のことであった。三十万羽ものニワトリが処分され、養鶏所に深刻な被害を与えたことはまだ記憶に新しい。

ところがこのウイルス

が姿を変え、人に感染する恐れが濃くなってきた。世界保健機関（WHO）の最近の調査によれば、ベトナムなどで広がっている鳥インフルエンザH5N1型は、人に感染し易い変異を起こしている可能性があり、WHOは徹底的な監視と調査が必要であると警告している。

人類よりずっと古くから地球上に存在

私たちは人類が地球上に現れたのは二十万年とされているが、ウイルスは実に三十億年前から地球上に存在してきたことが分っている。人は出現して以来ずっとウイルスと一緒に暮らしてきた。

エマージングウイルス

細菌は生き物、しかしウイルスは…

1999年、ニューヨークで突然発生した西ナイル熱は、市民の生活に大きな混乱を引き起こしたが、この熱病は、それより以前アフリカからヨーロッパにかけて発生したウィルス感染症であった。2000年には、中国でSARS（サース）が

その治療ができるようになった。

また二十世紀の少し前に、動物と植物のウイルスが分離され、人類を苦しめてきた天然痘、狂犬病、ポリオ、麻疹（はしか）などのウイルスによる感染症は、ワクチンの創成によってほぼ克服された。

ところがすでに述べたように、新たなウイルスが突然出現する脅威は全く衰えていない。

世間ではともに感染症に関わることから細菌とウイルスは混同しがちだが、それでは一体細菌とウイルスとはどう違うのだろうか。

まずは大きさの点から。多くの細菌は1000分の1ミリ前後だが、それに対してウイルスは細菌の10分の1から100分の1の小ささである。細菌は顕微鏡で見ることができが、ウイルスは普通の光学顕微鏡では見えず、電子顕微鏡を使わねば見えない。

しかし、それ以外にももっと基本的な違いを理解しておくことが大切だ。

細菌は原始的な細胞で、動物や植物の普通の細胞と同じように二つに分裂することによって増殖する。細胞はこどもをつくるために遺伝情報

担うDNA（デオキシ核酸）をもち、その情報にしたがってたんぱく質をつくる代謝や、エネルギーを供給するメカニズムを備えており、増殖するための情報と機能をすべてもっている。したがって温度などの外の条件が適切であれば、動物、植物の体外で増殖する。一方ウイルスは、子孫を残すための情報として核酸をもっているが、ウィルスの核酸はDNAかRNA（リボ核酸）かいずれかである。この核酸はたんぱく質の殻に包まれていて、裸の粒子だが、別にこの殻の外側がエンベロープと呼ばれる膜にくるまれているものもある。

このように外界では存在が危ぶまれるウイルスだが、しかし細胞の中では凄い増殖力を備えている。

この講座は続きます。

参考書

山内一也著「ウイルス究極の寄生生命体」NHK人間講座、2005年2〜3月

慶応志木高校寮跡地の開発で誕生した『ふれあいの森』

本紙11・14号で紹介したふれあいの森は、公募によってけいおうふれあいの森「大原ぼんぼこ公園」と命名され、3月6日にオープニングセレモニーが行われた。

この斜面林を残すため活動してきた「慶応高校の緑に想いを寄せる会」の方々は、感無量の面持ちでテープカットを見守った。



第2回「百彩百景」写真展

会場

新座市畑中公民館を活動拠点とする写真クラブ4団体は、昨年に引き続き「百彩百景」写真展を開催する。

会期

平成17年5月8日（日）〜14日（土）10時〜20時（初日は13時から。最終日は17時まで）

主催 畑中写真同好会
写真会
フォト・セブンセブン
Photo 2000

後援 新座市教育委員会
新座市文化協会



出展作
「60年の祈り」小島 昭二

端午の節句
五月の武者飾り
平成17年4月19日(火)~5月22日(日)
休館日 毎週月曜日
開館時間 午前9時30分~午後4時30分
志木市立郷土資料館
志木市中栄園3-1-2 TEL/FAX 048(471)0573

志木市立郷土資料館特別展

地域情報



名物株立ちの銀杏

特定非営利活動法人
NPO「市民フォーラム」

□ 本紙は暮らしやすい地域を創るために、市民の方々の取材を通して皆様と共に考えます。

この法人は地域住民と行政に対して取材活動を行い、報道によって市民の公共参加を推進し、地域内のメディア事業を行って、市民のコミュニケーションを向上させることを目的としています。

◇ 読者の「オピニオン（意見／考え）」を募集します。

地域情報紙「市民プレス」はNPO市民フォーラムが編集・発行し、無料で配付します。

編集部 原宛にどうぞ

重要文化財『黄林閣（柳瀬山荘）』
屋根の葺き替え工事

所在地

この山荘は久留米市柳瀬に天保15年（1844）大庄屋の住居として建てられたものを、電力王として著名な松永安左衛門氏（本紙6号）が譲り受けて移築したもの。

※志木駅から跡見女子大行きバスで15分、中野下車徒歩5分

現地問合せ

0429(44)2009【管理人 古谷】

現在は国指定重要文化財となり、国立博物館が管理しているが、茅葺きの屋根が鳥などによって荒らされ損傷が目立つようになつたため、今回13年ぶりに葺き替え工事が行われた。近く完工、保護のための網が張られるという。

毎週木曜日が公開日となつているが、工事中も引き続き公開されている。

